

東京都議会議員 (杉並区選出)
都民ファーストの会東京都議団 副政務調査会長

あかねがくぼかよ子

プロフィール

都議会議員 (二期目)。慶應義塾大学大学院・健康マネジメント研究科講師。経済・港湾委員会 副委員長。住宅政策審議会委員。1975年生まれ。杉並区浜田山在住。東京大学卒業後、ベンチャー、大手IT企業にて事業戦略、業務改革、マーケティングに従事。ワークライフバランス、適職発見、働き方改革を支援する活動にも尽力。2017年より現職。

東京の未来を見据え、子育て・環境・デジタルなど新たな取り組みを加速します。

都民ファーストの会東京都議団の提案を反映した、総額16兆円の令和5年度予算案が可決成立しました。

都独自の3つの少子化対策 4月からスタート

所得制限なく東京都に暮らす全ての子どもと親が対象

- 1 児童手当に都独自の上乗せ
18歳まで月額5,000円を給付
- 2 第2子から
保育料を無償化
- 3 出産応援事業を継続・充実
(都独自支援12万円に国支援10万円が追加)
(産前6万円+出産時10万円+1年後6万円)

むかしに比べて金額が上昇している、出産・育児・教育の費用について
個人負担を軽減して、希望する数の子供が持てるよう支援します。

代表質問で答弁する
小池都知事



関東大震災から100年 防災対策をさらに強化

耐震改修において、これまで対象となっていなかった平成12年以前に建築された新耐震基準の建物にも、耐震改修費用等を補助開始



災害発生時には、行政の対応(公助)には限界があります。自助(自宅避難、自宅備蓄)や共助(消防団、町会自治会)の取り組みが重要です。日頃から地域とのつながりがあると安心です。近くの防災イベントなどにぜひ参加してみてください。また、消防団は充足数が不足している地域もあり、団員を募集しています。本業の傍らでの団員活動は大変な面もありますが、いざという時は地域で助け合うため非常に重要な活動です。最近では、お勤めの方や女性、60代の方も活躍されています。



消防団の一員として訓練に参加

問合せ:杉並消防署 3393-0119 荻窪消防署 3395-0119 地域の防災イベントに参加

豪雨の際に水を貯える調節池の整備時期を前倒して実施



町会・自治会の防災備品の見直しを支援
30万円 補助率100%



マンション防災を支援
防災備蓄資器材の整備費用を補助率3分の2で支援



学校や公共施設等の避難所のWi-Fiを整備、衛星を使った災害時通信環境の維持



脱炭素の取り組みを加速

カーボンハーフ:2030年までに2000年比50%の実現へ

ハウスメーカー等に対して、新規建築する住宅等への太陽光パネルの設置等を条件付き*で義務化。2年後の運用開始に向けて、先行して仕組みを構築します。*屋根面積や日当たり等を加味した条件を満たす物件のみが対象

太陽光パネル等の設置への助成を拡充
初期費用のかからないサービスの実施を支援



パネルリサイクルや資源循環のための関係事業者による協議会の立ち上げ



国産パネルや代替産地など、製造工程において人権侵害等のないパネル調達



蓄電池・住宅断熱化・エコキュート・EV充電設備等についても併せて助成を拡充



また、電池で動くEV車の購入費補助や、バスやトラック等のEV車両の購入費補助、併せて充電機器の設置費について補助を拡大します。さらに、エネルギーの貯蔵や輸送に優れた水素について、再生エネルギーから生み出し利用する(グリーン水素)ことも取り組みを強化します。